協定書を取り交わした木賊町長と小林町長

神奈川県真鶴町・福島県鏡石町 災害時における相互応援協定調印式

町と真鶴町が協定 災害時の相互応援

町と真鶴町との災害時における相互応援等に関する協 定調印式が10月3日 金に行われ、木賊町長と真鶴町の 小林伸行町長(鏡石町出身)とが協定書を取り交わしました。

これは、大規模な災害発生時に被災した町のみで十分 な応急措置が困難となったときに、応急物資や資材の供 給、対策及び復旧に要する職員の派遣など、相互に応援 協力を行うものです。



鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式

鳥獣被害対策防止努める

町鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式が9月30日火、 鏡石町役場で行われ、全隊員5名が出席しました。

委嘱状交付式では、町長より各隊員へ委嘱状が交付さ れ、町長から「皆様のご協力をいただき鳥獣被害防止に 努めて参りたいと考えておりますので、引き続きご支援・ ご協力をよろしくお願いいたします。」と挨拶がありま した。委嘱期間は令和7年10月1日から2年間です。



「試験ほ場」収穫のお米 町内学校給食で提供

阿武隈川上流遊水地予定地の試験ほ場で収穫されたお 米 (コシヒカリ) が 10月 15日(水)から6日間、町内の小・ 中学校の給食で提供されました。

試験ほ場では、今年5月に試験作付けを実施し、稲の 生育に影響があるか調査を進めており、安全性が確認さ れたことから今回提供することとなりました。児童は、 「甘くてもちもちしていて美味しい。」と話していました。



認知症サポーター養成講座

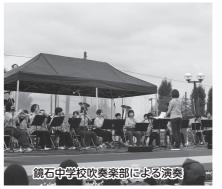
認知症へ理解深める

認知症サポーター養成講座が10月22日例に第二小 学校、24日 金に第一小学校で実施され、4年生の児童 が認知症に対する理解を深めました。

新しい認知症観(※1)に立ち、認知症の人への接し 方などについてグループワークやクイズ等を通して学び ました。受講した児童には受講証明としてオレンジリン グとサポーターカードが配布されました。

※1新しい認知症観 認知症になると何もできなくなるという考えではなく、できること・やり たいことがあり、地域で仲間とともに希望を持って自分らしく暮らすことができるという考え方。



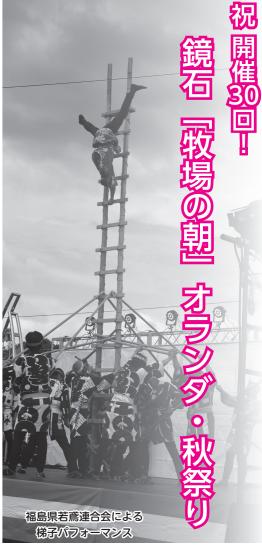












石中学校吹奏楽部による演 県若鳶連合会による梯子 最後にはイベンツ紀さんのステー として活躍され ージでは、 マンスや、 乗り島 ŧ

よる「 スポレクでは昭 よる交通安 ら始ま

